

令和2年7月6日

【いじめ防止】

おはようございます。本日は大阪市のいじめ防止週間ということで、いじめをやめましょうというお話をします。

まず、いじめとはなんでしょう。それは、自分より弱者に対して、暴力やいやがらせをして、相手の体や心にいやな思いをさせることです。

もし、今いじめをしている人がいたら、すぐにやめてください。いじめははっきり言って犯罪です。日本の法律に反しています。そもそも、弱いものいじめはカッコ悪いです。

よくいじめられている側にも理由があるという人がいます。

「あの子、あんなんだからいじめていいんよ。」とかいう人もいますが、完全にまちがっています。いじめは、どんな理由があってもゆるされません。もし、そういう理由があるのならいじめめるのではなく、担任の先生にお話ししてください。

それから、よく似た言葉に、「いじる」というのがあります。お笑い芸人さんが、「こいついじったらおもしろいねん」とかいうことを聞きますが、校長先生は「いじる」も「いじめ」とほぼ同じだと思います。なぜなら、いつもいじられている人がいじっている人をいじり返すことはまずないからです。いじられている人が笑っているから大丈夫と思っている人もいるかもしれませんが、その人の笑顔をよく見てください。心から笑っている顔ではありません。

「いじる」は、お笑い芸人にだけ許されていると思ってください。みなさんは、小

学生でお笑い芸人ではありません。絶対にだれかを「いじって」笑いものにしないようにしましょう。

そして、もし今、いじめられている人がいたら、先生やすぐに周りの大人にいきましょう。一人で抱え込まないことが重要です。いじめは、まわりの大人が知るだけで解決できることがたくさんあります。よろしくお願いします。

そして、このようないじめをつくらない、雰囲気、空気を学校につくりたいと校長先生は考えています。実に簡単なことです。どうすればいいのか。

それは、自分の幸せだけを考えて行動しないということです。自分が幸せになることはとても大切なのですが、いつも自分のことだけ考えていると、いじめが起ったりやすくなります。常に、自分の周りの人が困っていないかな、悩んでいないかなというやさしさ、心配りをもってください。また、みんなのために行動することもいいですね。校長先生は最近毎週日曜日、家の近所の公園のお掃除をひとりでやっています。落ち葉を掃いたり、雑草を刈ったり、2時間ぐらいお掃除すると、実に気持ちのいいものです。小学生のみなさんなら、1日1回教室や廊下のごみを拾ってみるとかもいいでしょう。少しでもみんなの幸せを考えて行動することが重要です。

そうして、いじめの起こらない敷津小学校をみんなでつくっていきましょう。